世界マリアニスト祈りの日

2009年10月11日

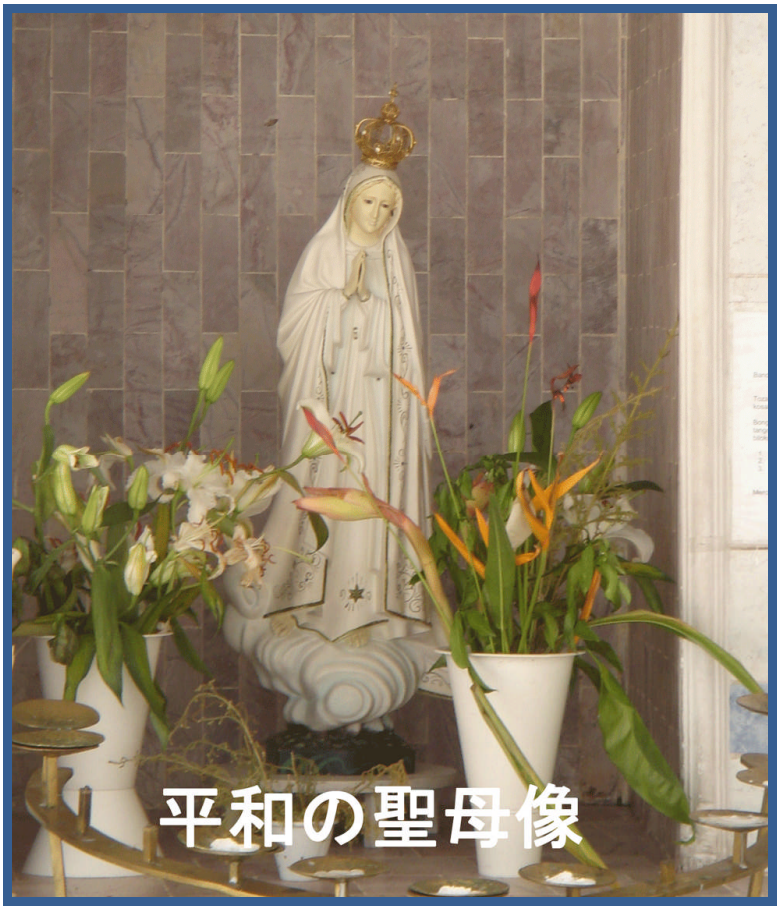
キンシャサのファティマの平和の聖母巡礼堂

平和の聖母巡礼堂は、コンゴ民主共和国のキンシャサ市の中心部に位置しています。直線でコンゴ共和国のブラザビルから 7 キロメートル離れたところにあります。2001 年 7 月 13 日に創建されたこの平和の聖母巡礼堂は、フレデリック・エツウ・ザビ・バムンワビ枢機卿（Cardinal Frederick Etsou Nzabi Bamungwabi）（故人で、当時はキンシャサの大司教）のイニシアチブによって建てられました。その建設は我が国（コンゴ民主共和国）における戦争、及び、元気づけてくれる見込みが殆んどない状況が教会に課したチャレンジに対する教会の司牧的な応答でした。そのために枢機卿は、この巡礼堂が特別な仲裁の場、祈りの場、神のみ言葉を聴く場、秘跡、特に和解の秘跡の場になることを望みました。一般的には世界平和のため、特別にはコンゴ民主共和国の平和のために、熱心な祈りが捧げられる中心地にしようと考えました。

私たちは、敬愛する故人となった枢機卿とともに、平和は神からの恵みだと信じ、この平和は心の回心を通して、また、愛、真理、謙遜、許し合い、和解などの福音的諸徳に心を開くことからくるものだと信じます。私たちは、この平和への共通の探求という努力において、神の母、平和の女王であるおとめマリアの母性的な取り次ぎに依り頼みます。教会に認めら

れた数々のご出現において、聖母マリアは御子の弟子に対して、真の回心の実りである平和のために熱心に祈るよう、止むことなく呼びかけています。

この巡礼堂は、キンシャサのすべてのキリスト者にとって巡礼の主たる場となってきました。平和の聖母であるおとめマリアに献げられた場所なので、巡礼者は、ここで行われるすべての行事において、一般的には世界のために、特別にはコンゴのために、信仰と大きな希望をもって、平和の恵みを心から願うように勧められています。“人が想像できるあらゆるものを遙かに超える”神の平和の恵みをこの世界にいただけるように、人々はおとめマリアの、強力かつ母性的な取り次ぎを願います。



大勢のキリスト者が、自分たちの心に平和を取り戻すためにやって来ます。定期的に訪れる方々は、巡礼堂にきてからは、自分たちの人生に大きな影響があったと証明しています。マリアがいつも人々をその子に導いて下さるように、巡礼堂を訪れる人々は、御聖体を礼拝したり、ノベナの祈りに参加したりなどをします。彼らはまた、おとめマリアの取り次ぎを通していただいたお恵に対して主に感謝するために再訪を望んでいます。

このような巡礼の旅は、一年中定期的に計画されていますが、一番多い時期は 5 月と 10 月です。

世界マリアニスト祈りの日のための意向

１．コンゴ民主共和国の平和のために祈ります：戦争、すべての暴力行為、不正、政治的不寛容の被害者である人々の疎外が終わりますように、また、犠牲となって流されたこの国の人々の血が、マリアを通して天の国の祭壇で献げられますように。

２．コンゴ民主共和国においてマリアニスト・カリスマが広まるように祈ります：マリアニスト家族のそれぞれの枝が互いに協力し、教会と社会における献身的な態度とその活動を通して、自分たちのカリスマに対する理解をより深めることができますように。

３．第５回マリアニスト信徒共同体国際会議の決議文が実行されるように祈ります：今回決議された将来への課題が、新しく選ばれた国際チームを決して落胆させることなく、むしろ、それらの課題が、マリアニスト信徒共同体のメンバー全員にとってマリアの仲介を通してイエス・キリストに目を向ける励みとなりますように。

４．福者シャミナード師の列聖のために祈ります: 主よ、シャミナード師の取り次ぎによって、師の聖性の見えるしるしを私たちに与え、助けを必要としている人々に恵みをお与えください。シャミナード師の模範に倣って、私たちが、イエスを迎え、イエスに奉仕し、イエスを現代の人々に愛させる道を知る者となりますように。

５．マリアニスト家族のために祈ります：その四つの枝が、それぞれの特有な召命に基づいて一致して生活し成長しますように、また、あまりにも人間的な不一致への誘惑に負けないよう、お互いに支えられますように。

６．マリアニスト家族の各枝への召命のために祈ります：収穫は多いが、働き手が少ないというのは確かなことなので、周りの人々に召命への呼びかけを行う勇気が、ファティマの聖母の取り次ぎによって私たちに与えられますように。

７．全世界で、聖なるおとめマリアの取り次ぎを信じて私たちと祈りのうちに一致している人々のために祈ります：心を一つにして過ごすこの時間が、教会と社会に奉仕する私たちの召命を刷新するものとなりますように。

巡礼堂の中央に掛けてある紋章には
「すべての人を一つにしてください」及び
「心も思いも一つにして」
（Cor unum et anima una）
という聖書の言葉がキンシャサ市で話されている
リンガラ語で書かれています。